

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【公表番号】特表2017-529398(P2017-529398A)

【公表日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2017-535141(P2017-535141)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/16	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 K	9/72	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
C 0 7 K	14/21	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	38/16	
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 K	9/72	
A 6 1 P	31/04	
C 0 7 K	14/21	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月12日(2018.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

S型ピオシンを含む、細菌性呼吸器感染症の予防または処置のための療法組成物であって、該ピオシンが、肺投与により送達される、前記療法組成物。

【請求項2】

該感染性細菌が、シュードモナス・エルジノーサを含む、請求項1に記載の療法組成物。

【請求項3】

該処置されるべき対象が、細菌性肺炎を有する、または細菌性肺炎を発現するリスクがある、請求項1または2に記載の療法組成物。

【請求項4】

該処置されるべき対象が、弱められた気道機能および/または弱められた免疫機能を有する、請求項3に記載の療法組成物。

【請求項 5】

該処置されるべき対象が、囊胞性纖維症または慢性閉塞性肺疾患を患っている、請求項 3または4に記載の療法組成物。

【請求項 6】

該対象が、癌患者またはうっ血性心不全もしくはAIDSに冒されている患者である、請求項 3または4に記載の療法組成物。

【請求項 7】

該処置されるべき対象が、市中感染性肺炎、人工呼吸器関連肺炎または院内感染性肺炎を有する、またはそれらを発現するリスクがある、請求項 3 - 6のいずれか1項に記載の療法組成物。

【請求項 8】

該S型ピオシンが、S2、SD2、S5またはAP41標的化部分を含む、請求項 1 - 7のいずれか1項に記載の療法組成物S型ピオシンまたは方法。

【請求項 9】

該ピオシンが、S5標的化部分を含む、請求項 8に記載の療法組成物。

【請求項 10】

該S型ピオシンが、S2、SD2、S5またはAP41エフェクター部分を含む、請求項 1 - 9のいずれか1項に記載の療法組成物。

【請求項 11】

該S型ピオシンが、S5エフェクター部分を含む、請求項 10に記載の療法組成物。

【請求項 12】

該S型ピオシンが、S2、SD2、S5、AP41またはL1ピオシンである、請求項 1 - 11のいずれか1項に記載の療法組成物。

【請求項 13】

該S型ピオシンが、S5ピオシンである、請求項 12に記載の療法組成物。

【請求項 14】

2種類以上のピオシン類の組み合わせが該対象に投与される、請求項 1 - 13のいずれか1項に記載の療法組成物。

【請求項 15】

該組み合わせが、S5ピオシン、L1ピオシン、S2ピオシン、SD2ピオシンおよび/またはAP41ピオシンを含む、請求項 14に記載の療法組成物。

【請求項 16】

該組み合わせが、L1ピオシンおよびS2ピオシン；L1ピオシンおよびAP41ピオシン；S2ピオシンおよびAP41ピオシン；またはL1ピオシン、S2ピオシンおよびAP41ピオシンを、場合によりS5ピオシンおよび/またはSD2ピオシンとの組み合わせで含む、請求項 15に記載の療法組成物。

【請求項 17】

S型ピオシンを提供することおよび前記のS型ピオシンを肺投与のために配合することを含む、細菌性呼吸器感染症の予防または処置のための医薬品を調製する方法。

【請求項 18】

療法組成物の対象への肺投与のためのデバイスであって、該組成物が、S型ピオシンを含むデバイス。

【請求項 19】

吸入器またはネブライザーである、請求項 18に記載のデバイス。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

ある態様において、S型ピオシンは、S 2、S D 2、S 5、A P 4 1 または L 1 ピオシン、例えば S 5 ピオシンである。

2種類以上のピオシン類の組み合わせが対象に投与されることが、望ましい可能性がある。組み合わせは、少なくとも2種類の異なる受容体特異性および/またはエフェクタ活性を有するS型ピオシン類を含むことができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 1】

ピオシン分子は、上記で提供されたピオシン S 2、S D 2、S 5、A P 4 1 または L 1 の典型的な配列（それぞれ S E Q I D N O : 1、7、13、18 および 24）に対して少なくとも 80% の配列同一性、例えば少なくとも 85%、90%、95%、96%、97%、98% または 99% の配列同一性を有し得る。そのような分子は、それぞれ S 2、S D 2、S 5、A P 4 1 または L 1 ピオシン類と記載されることができる。典型的には、それらは、提供された典型的な配列と同じ受容体に結合し、同じ細胞毒性活性を有する。L 1 ピオシンは、典型的には 1、2、3 または 4 個の炭水化物結合モチーフを含み、それは、それぞれが上記で示されたコンセンサス配列に従う。ある態様において、L 1 ピオシンは、上記の S E Q I D N O : 24 において下線が引かれた特異的な炭水化物結合モチーフの 1 個、2 個、3 個または 4 個全部を含む。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 9】

本発明は、上記の典型的な態様と合わせて記載されてきたが、多くの均等な改変およびバリエーションが、本開示を与えられた際に、当業者には明らかであろう。従って、述べられた本発明の典型的な態様は、説明的であり、限定的ではないと考えられる。記載された態様に対する様々な変更が、本発明の精神および範囲から逸脱することなくなれることができる。本明細書で引用された全ての文書は、参照により明確に援用される。

非限定的に、本発明は以下の態様を含む。

[態様1] 細菌性呼吸器感染症の予防または処置の方法における使用のためのS型ピオシンであって、該ピオシンが、肺投与により送達されるS型ピオシン。

[態様2] 対象における細菌性呼吸器感染症の予防または処置のための方法であって、S型ピオシンが、該対象に肺投与により送達される方法。

[態様3] 態様1に記載の使用のためのS型ピオシンまたは態様2に記載の方法であって、該感染性細菌が、シュードモナス・エルジノーサを含む、S型ピオシンまたは方法。

[態様4] 態様1～3のいずれか1項に記載のS型ピオシンまたは方法であって、該処置されるべき対象が、細菌性肺炎を有する、または細菌性肺炎を発現するリスクがある、S型ピオシンまたは方法。

[態様5] 態様4に記載のS型ピオシンまたは方法であって、該処置されるべき対象が、弱められた気道機能および/または弱められた免疫機能を有する、S型ピオシンまたは方法。

[態様6] 態様4または態様5に記載のS型ピオシンまたは方法であって、該処置されるべき対象が、囊胞性纖維症または慢性閉塞性肺疾患を患っている、S型ピオシンまたは方法。

[態様7] 態様4または態様5に記載のS型ピオシンまたは方法であって、該対象が

、癌患者またはうっ血性心不全もしくはAIDSに冒されている患者である、S型ピオシンまたは方法。

[態様 8] 態様 4 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該処置されるべき対象が、市中感染性肺炎、人工呼吸器関連肺炎または院内感染性肺炎を有する、またはそれらを発現するリスクがある、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 9] 前記の態様のいずれか 1 項に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該 S 型ピオシンが、S 2 、 S D 2 、 S 5 または A P 4 1 標的化部分を含む、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 10] 態様 9 に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該ピオシンが、S 5 標的化部分を含む、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 11] 先行する態様のいずれか 1 項に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該 S 型ピオシンが、S 2 、 S D 2 、 S 5 または A P 4 1 エフェクター部分を含む、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 12] 態様 11 に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該 S 型ピオシンが、S 5 エフェクター部分を含む、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 13] 先行する態様のいずれか 1 項に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該 S 型ピオシンが、S D 2 、 S D 2 、 S 5 、 A P 4 1 または L 1 ピオシンである、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 14] 態様 13 に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該 S 型ピオシンが、S 5 ピオシンである、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 15] 先行する態様のいずれか 1 項に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、2 種類以上のピオシン類の組み合わせが該対象に投与される、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 16] 態様 15 に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該組み合わせが、S 5 ピオシン、L 1 ピオシン、S 2 ピオシン、S D 2 ピオシンおよび / または A P 4 1 ピオシンを含む、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 17] 態様 16 に記載の S 型ピオシンまたは方法であって、該組み合わせが、L 1 ピオシンおよび S 2 ピオシン ; L 1 ピオシンおよび A P 4 1 ピオシン ; S 2 ピオシンおよび A P 4 1 ピオシン ; または L 1 ピオシン、S 2 ピオシンおよび A P 4 1 ピオシンを、場合により S 5 ピオシンおよび / または S D 2 ピオシンとの組み合わせで含む、S 型ピオシンまたは方法。

[態様 18] S 型ピオシンを提供することおよび前記の S 型ピオシンを肺投与のために配合することを含む、細菌性呼吸器感染症の予防または処置のための医薬品を調製する方法。

[態様 19] 療法組成物の対象への肺投与のためのデバイスであって、該組成物が、S 型ピオシンを含むデバイス。

[態様 20] 吸入器またはネブライザーである、態様 19 に記載のデバイス。